米代川の総合的な治水対策計画（平成 20 年 3 月 29 日策定）　～　流域のはん濫・洪水メカニズムに配慮した総合的な治水対策　～

資料-2

平成１９年９月洪水における課題

緊急的な対応
- ○河川の流下能力不足の解消
- ○水害防止施設被災箇所の機能
- ○流出抑制
- ○水防災の拠点施設整備

水害時の対応
- ○水害発生時の迅速な対応の推進
- ○水防活動の情報伝達体系の整備
- ○避難率向上及び避難者への洪水情報伝達方法
- ○迅速な水防資材調達

平常時の危機管理
- ○普段の訓練・準備の充実
- ○避難所・避難経路周知
- ○水害教訓の継承等の推進

米代川の目指すべき姿

米代川河川整備計画（H17.3）のテーマ
- ○安全・安心の川づくり
- ○豊かな自然を次世代に引き継ぐ川づくり
- ○豊かな暮らしを支える川づくり
- ○地域の活性化に寄与する川づくり
- ○住民参加と地域連携による川づくり

安心して安全に住める水害に強い街づくり

流域一体となった対策の実施（流域機関連携の取り組み）

米代川の総合的な治水対策の基本方針

- ○平成 19 年 9 月水害規模の洪水に対し、再度災害の防止及び減災に努める
- ○流域特性を踏まえ、住居への浸水被害を防止し、人命の安全を確保する
- ○普段の備えを着実に実施し、市民の要求に応じ、きめ細かな治水対策とする
- ○水害に対して自助・共助・公助の精神に則り、住民と市・県・国が一丸となった多層的な取り組みを実施する

重点項目

（ハード対策）
- ○緊急的な対策
- ○中長期の対策（恒常的な維持管理）

（ソフト対策）
- ○水害時の対応
- ○平常時の危機管理
- ○土地利用
- ○流域の連携（自助・共助・公助）

具体の対策

【米代川（県・国）】
- ○ 堤防・河岸の復旧（能代市扇田地区等 11 箇所、大館市道目木等 4 箇所、大館市板沢地区等4箇所、鹿角市八幡平玉内等 10 箇所）
- ○ 堤防強化（能代市扇田・鶴形・天内・朴瀬、北秋田市今泉）
- ○ 家屋浸水対策（大館市山田渡、能代市麻生・小繋・天内・常盤）
- ○ 流下能力向上（阿仁川合流点下流の河道掘削・樹木伐採）
- ○ 水防災拠点整備（能代市扇田地区）

【阿仁川（県）】 ○流下能力向上(河道掘削)・堤防強化・築堤（北秋田市増沢・木戸石地区等 5 工区）
【常盤川・内川・桧山川（県）】 ○築堤
【悪土川（県）】 ○家屋浸水対策

- ○ 支川の改修[市・県]（浦志内川、福士川、犀川、引欠川、山田川）
- ○ 森吉山ダム[国]・砂子沢ダム[県]の洪水調節施設の早期運用
- ○ 農用地冠水対策（堤防）
- ○ 堤防の補修・機能維持
- ○ 下水道整備[市]

○水害時の対応

- **○ 防災計画**
  - ○ 市地域防災計画の見直し、各機関の災害対応マニュアルの策定
- **○ 状況把握**
  - ○ 流域状況（雨量、水位、被災情報）の収集
  - ○ 危険地区の CCTV 追加設置
  - ○ 各機関相互の情報共有方法確立
- **○ 水防活動**
  - ○ 水防活動の情報共有・連絡体制の確立
  - ○ 水防団への応援体制確立
  - ○ 重要水防箇所の点検・見直し
  - ○ 水防資材調達に関する民間協定
- **○ 情報提供**
  - ○ 市民への情報伝達
  - ○ 秋田県管理ダムの洪水調節情報設備の整備
- **○ 避難活動**
  - ○ 避難マニュアルによる減災方法の確立
  - ○ 自治体との避難判断水位共有（ホットライン）
  - ○ 避難所・避難場所の確保
  - ○ 避難住民への洪水情報提供方法の確立
  - ○ 自治体等の応援体制確立

○平常時の危機管理

- **○ 市民への連絡と周知徹底**
  - ○ 浸水想定区域図・ハザードマップの周知
  - ○ 水害を風化させないための広報
  - ○ 避難所・避難場所、避難経路等の広報
  - ○ 洪水調節施設等の役割、運用方法等の広報
- **○ 訓練**
  - ○ 地域防災計画書による訓練
  - ○ 流域内危機管理演習
  - ○ 水防訓練
- **○ 教育**
  - ○ 水防災講習会の実施
  - ○ 地域主導による水害教訓等の後世への継承・啓発

○土地利用

- **○ 土地利用**
  - ○ 水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導
  - ○ 水害危険地区の設定検討
  - ○ 流出抑制施設設置推進

○流域の連携（自助・共助・公助）

- **○ 救済・救援**
  - ○ 災害救援（ボランティア活動）・被災者生活援助
  - ○ 救済基金等の設置検討
  - ○ 地域交流による人的協力体制の確立

対策の実施・評価・フォローアップ（計画・実施・評価・修正）

【凡 例】 ○赤文字：完了、実施済み　○青文字：検討中、一部完了　○緑文字 ： 未実施、未検討

【　ハード対策　】　～　平成20年度の取り組み　～

【ﾎﾟｲﾝﾄ】地域の協力を得て、事業が急ピッチで進められている。

- ○米代川及び阿仁川の災害復旧護岸工事は、平成20年度で完成。
- ○米代川の築堤工事は、大館市山田渡地区が平成20年度に完成。
- ○阿仁川の築堤工事は、北秋田市五味堀工区が平成20年度に完成。北秋田市増沢・木戸石工区、米内沢工区が平成21年度に完成予定。
- ○河道掘削工事（米代川・阿仁川）は継続実施、平成22年度に完成予定。情報交換により、掘削土の利活用を実施。
- ○森吉山ダム（国）、砂子沢ダム（県）で平成21年度に試験湛水を開始予定。

○米代川災害復旧事業 【国】

河道掘削、築堤、堤防強化等を実施しており平成22年度の完成を目指す。

工種	地区	数量	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
河道掘削（延長 35.5km）		90万m³				
築　堤（5地区）（1,250m）	常盤地区	200m				
	天内地区（水門）	1基				
	小繋地区	200m				
	麻生地区	650m				
	山田渡地区	200m				
堤防強化（5地区）（5,200m）	扇田地区	1,100m				
	鶴形地区	1,000m				
	朴瀬地区	400m				
	天内地区	2,000m				
	今泉地区	700m				
災害復旧護岸		15箇所（3,050m）				
CCTVの設置　※H19までに23基設置済み		31基				
高水敷伐木		150万m²				

H21.3時点で約50万m³完了

堤防強化5地区は、H21.3時点で3,800m完了

完了

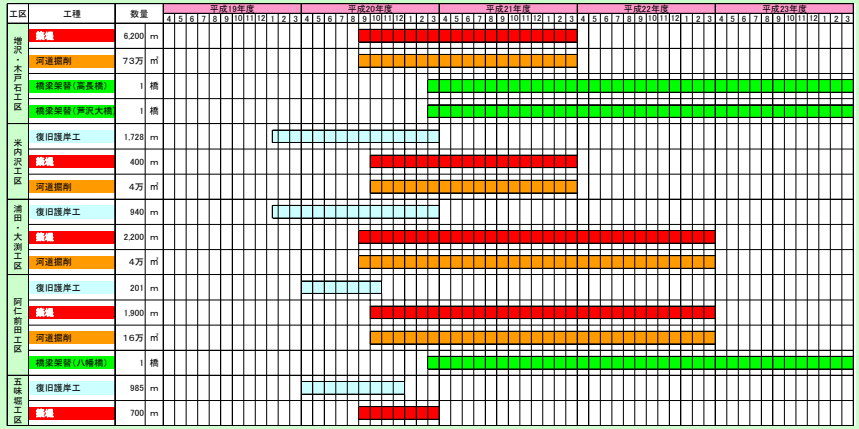
H21.3までに30基を設置

H21.3までに約9割完了

【凡例】 ：設計・用地　：工事

○阿仁川災害復旧助成事業 【県】

河道掘削、築堤、災害復旧、橋梁架替を実施しており、平成23年度の完成を目指す。

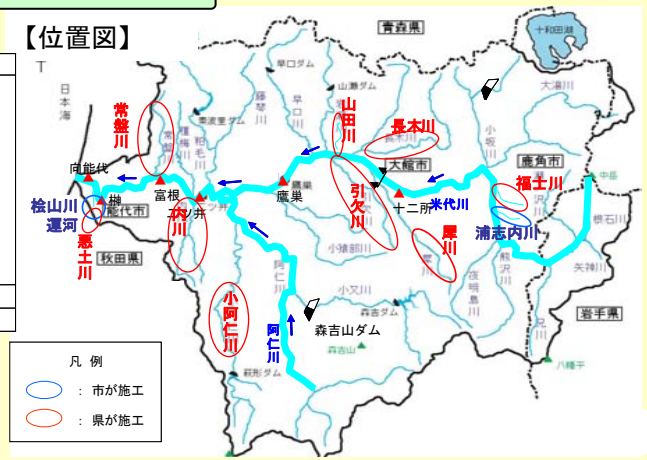


○支川の改修 （能代市、鹿角市、県）

【工程表】

区分	河川名	平成20年度	平成21年度	内容
県	悪土川			築堤、用地など
	常盤川			
	内川			
	小阿仁川			
	引欠川			
	山田川			
	長木川			
	犀川			
	福士川			
能代市	桧山川運河			築堤など
鹿角市	浦志内川			護岸など

【位置図】



○情報交換による掘削土の利活用を実施

市、県と国

【 能代河川国道事務所 】
○米代川復緊事業
（河道掘削工事）

- 【 能代市 】 ○学校造成工事 ○都市公園整備事業
- 【 北秋田市 】 ○産廃処理場関連工事
- 【 秋田県 】（山本地域振興局） ○海岸施設災害復旧事業
- 【 秋田県 】（北秋田地域振興局） ○国道道路改築工事

市と県

【 秋田県 】（鹿角地域振興局）
○河道掘削工事

【 鹿角市 】
○公営住宅建設事業

○森吉山ダム 【国】

平成22年1月から試験湛水開始予定。
平成23年度にダム完成予定。

森吉山ダムの状況（平成19年撮影）

○砂子沢ダム 【県】

平成21年10月から試験湛水開始予定。
平成22年度にダム完成予定。

砂子沢ダムの状況（平成20年撮影）

○伐採木の無料配布

伐採木配布状況（北秋田地域振興局）

伐採木配布状況（能代河川国道事務所）

○米代川水系河川整備学識者懇談会（平成20年7月28日設立）【国】

国土交通省では、平成19年9月の豪雨災害を踏まえ、平成17年3月策定の河川整備計画の見直しを実施するため、「米代川水系河川整備学識者懇談会」を設立。

これまで2回の懇談会を開催し、米代川の治水、利水、環境、維持管理に関して学識経験を有する方々等から意見を聴きながら、河川整備計画の見直しについて審議。

第2回懇談会　開催状況（H20.12.8）

○阿仁川河川整備計画策定検討委員会（平成20年9月3日設立）【県】

阿仁川における治水・利水・環境の総合的な河川整備を推進することを目的として設立。

公聴会（H20.10.19）及び検討委員会（第2回：H20.11.10）の意見交換等を踏まえ、**県知事へ意見書を提出（H20.12.17）。**

○阿仁川川づくり協議会（平成20年10月15日設立）【県】

地元の意見を事業に反映させ、且つ、防災意識の高揚を図る事を目的として設立。

平成20年度は、勉強会、見学会を実施すると共に、水害を風化させないためのポスターを作成。

○各機関が広報誌をホームページ等で取り組み状況を紹介

平成21年2月20日（金）　第　25号

秋田県 北秋田地域振興局 建設部

阿仁川復旧課ニュース

〒018-3393 北秋田市鷹巣字東中岱76-1

TEL 0186-62-7161 復旧用地班
0186-62-7162 工務班
FAX 0186-62-7163
e-mail kitaakitahensetsubu@pref.akita.lg.jp

阿仁川川づくり協議会
2月19日 川づくり勉強会を開催
～ 地域に親しみのある身近な川づくりを目指して ～

平成20年10月15日に設立した阿仁川川づくり協議会（会長工藤博上杉自治会長）が、森吉支所で勉強会を開催した。工藤会長は、災害助成事業を理解し、川に密接な関係のある地域に対して情報提供していく必要があるとあいさつをした。勉強会は、災害助成事業概要の説明後、工事現場を見学した。意見交換では、なぜ中洲を取らないのか、アユ釣り客の駐車場を整備して欲しい、堤防への乗り入れ斜路を整備して欲しいなどの意見が出された。県は現地確認後に回答することとした。

工藤会長は、今後も地域の意見を取りまとめ、身近な川づくりをしたいと話をしていた。

工藤会長 あいさつ　　阿仁川橋左岸 護岸工事

意見交換

浦田橋左岸 護岸工事

～今後とも地域住民の皆様の御理解と御協力をお願いします～

☆北秋田地域振興局　建設部
『阿仁川復旧課ニュース』

平成21年 2 月24日（火）

国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所

米代川災害復旧だよりVol.5
（能代河川国道事務所ニュース 第603号）

地域づくり相談室 〒016-0121 能代市鰄渕字一本柳97-1　TEL 0185-70-1176　FAX 0185-70-1141

ホームページアドレス http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/
e-メールアドレス noshiro@thr.mlit.go.jp

米代川河道掘削工事を進めています
－ 冬季も休まず、安全には万全の注意を払い復旧事業を進めています －

平成19年9月洪水の災害復旧事業に伴い、河川の掘削工事の土砂を浅内鉱さい堆積場へ運んでいます。運搬に際しては、地域の皆様に極力ご迷惑をお掛けしないよう様々な工夫をしていますのでご理解・ご協力をお願いいたします。

安全運転でフル稼働！

現場では50台以上のダンプトラックが稼働しています。運行に際しては
・運行経路の分散、安全運転の徹底
・路面汚損対策（路面清掃車、清掃員）
・車輌出入り口には交通整理員の設置
などを徹底し、その他にも写真のような取り組みを実施しています。

地域の方々のご理解・ご協力により災害復旧事業を進めています

これまで12地区で合計20回以上、地元の方々との事業説明会等を通じて、災害復旧事業にご理解・ご協力を頂いています。
今後も、地域の方々と話し合いを進めながら、喜ばれ、親しまれる施設の整備を進めて参ります。

伐採木がろうそく台に！
"のしろまち灯り"で新たな役割

2月14日能代市内で"のしろまち灯り"が行われました。米代川に自生する柳の木は、洪水時に支障とならないよう伐採されましたが、7つのろうそく台として生まれ変わり、会場で披露されました。
ろうそくの炎は、幻想的な雰囲気で冬の街を暖かく包みこみました。

のしろまち灯りは「能代山本地区のまちづくり団体で組織する『のしろ自然ネットワーク 代表 柴田裕子（日本風景街道全国団体）』の主催」です。

★能代河川国道事務所
『米代川災害復旧だより』

【 ソフト対策 】　～ 平成20年度の取り組み ～

流域4市の取り組み状況

重点項目	具体の対策	詳細項目	能代市	北秋田市	大館市	鹿角市	備　考
○水害時の対応	①防災計画	①地域防災計画の見直し	●	●	●	H21	・H21で地域防災計画の見直し完了。
		②災害対応マニュアルの策定	●	●	●	●	・鹿角市は「災害時職員初動体制ﾏﾆｭｱﾙ」改定、能代市は「災害発生時における緊急対応ﾏﾆｭｱﾙ」作成。
	②状況把握	①流域状況(雨量、水位、被災情報)の収集	●	●	●	●	・インターネットの活用。
		②各機関相互の情報共有方法確立	検討中				・当面はFAXによる情報共有。
	③水防活動	①水防活動の情報共有・連絡体制の確立	検討中				・当面はFAXによる情報共有。
		②水防団への応援体制確立	●	●	●	●	・水防計画により規定。
		③水防資材調達に関する民間協定	●	●	●	●	・大館市では、全4社(団体)と締結（食料、日用雑貨、衣類、作業用品、電力供給と復旧活動等）。
	④情報提供	①市民への情報伝達	●	●	●	●	・鹿角市、能代市では自動ﾒｰﾙ配信ｼｽﾃﾑを活用。防災無線、消防無線、広報車、携帯電話などで周知。
	⑤避難活動	①避難マニュアルによる減災方法の確立	●	●	●	●	・北秋田市は「避難判断・伝達ﾏﾆｭｱﾙ」を作成・公表。能代市は、同ﾏﾆｭｱﾙを作成。
		②自治体との避難判断水位共有（ホットライン）	●	●	●	●	・能代市長、北秋田市長、大館市長と国道事務所長との間で継続実施。
		③避難所・避難場所の確保	●	●	●	●	・大館市では157箇所設置（H19.9洪水後に全避難所を再検証）。
		④避難住民への洪水情報提供方法の確立	●	●	●	●	・北秋田市では災害時に孤立する恐れのある集落へ携帯電話貸与。
		⑤自治体等の応援体制確立	●	●	●	●	・県内13市と相互援助に関する応援協定により対応
○平常時の危機管理	①市民への連絡と周知徹底	①浸水想定区域図・ハザードマップの周知	H21	H21	●	H21	・大館市は広報と一緒に「保存版防災マップ」を全戸配布済み。
		②水害を風化させないための広報	●	●	●	●	・北秋田市を皮切りに巡回パネル展（4市で実施）を開催、広報に掲載し啓発に努めた。
		③避難場所・避難経路等の広報	●	●	●	●	・鹿角市では「避難所ﾏｯﾌﾟ」を作成、「第1避難所」、「第2避難所」を明示し周知を図った。
		④ハザードマップの作成	H21	H21	H20・H21	H21	・大館市は、米代川（直轄管理区間）と長木川についてH20公表済み。H21はその他の支川等を網羅して作成。
		⑤公表済みハザードマップの見直し	H21	H21	－	－	・能代市では 二ツ井地区における避難施設の浸水状況の確認。
	②訓練	①地域防災計画による訓練	●	●	●	●	・大館市では職員の消防防災訓練を実施（災害対策本部設置訓練・被害情報の報告訓練・情報伝達訓練）。
		②流域内危機管理演習	●	H21	H21	H21	・H20は、12/1に能代市と国で実施。H21は4市、県、国での合同実施を予定。
		③水防訓練	●	●	●	●	・自治体毎に実施。県は訓練用水防資材を提供。
	③教育	①水防災講習会の実施	●	●	●	●	・4市とも出前講座を実施。
		②地域主導による水害教訓等の後世への継承・啓発	●	●	●	●	・4市とも出前講座を実施。北秋田市では、阿仁前田自治会が独自で水害避難訓練を実施。
○土地利用	①土地利用	①水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導	検討中	未検討	検討中	未検討	・大館市では、建築確認申請の際にハザードマップを渡すなどの助言・指導を実施予定。
		②水害危険地区の設定検討	未検討	未検討	検討中	未検討	・今後、検討。
		③流出抑制施設設置推進	未検討	未検討	●	未検討	・大館市で開発行為に対して指導を実施、平成20年度は2件の施行実績あり。
○流域の連携（自助、共助、公助）	①救済・救援	①災害救援（ボランティア活動）・被災者生活援助	●	●	●	●	・鹿角市では、H20.3にボランティア研修会を社会福祉協議会が実施。他市でもボランティアの講習会を実施。
		②救済基金等の設置検討	未検討	未検討	未検討	未検討	・今後、検討。
		③地域交流による人的交流体制の確立	●	●	●	●	・地域防災計画に基づく協定により対応。

※「●」は、実施済み（対応済み）を表す。

県・国の取り組み状況

重点項目	具体の対策	詳細項目	県	国	現在の進捗状況
○水害時の対応	①状況把握	①危険地区のCCTV追加設置・内水位計の設置	―	●	・H20は、CCTVを7基、及び排水ポンプ停止水位の表示板（2箇所）を設置。
		②各機関相互の情報共有方法確立	検討中		・当面は、FAXによる情報共有で対応。
	②水防活動	①水防活動の情報共有・連絡体制の確立	検討中		・当面は、FAXによる情報共有で対応。
		②水防団への応援体制確立	●	●	・市及び県の水防計画に規定。
		③重要水防箇所の点検・見直し	●	●	
		④河川巡視ルートの見直し	H21	●	・H19.9出水を踏まえた見直し。
	③情報提供	①秋田県管理ダムの洪水調節情報設備の整備	●	―	・県のHPにて情報配信中（水沢ダムを除く）。
		②阿仁川における水位危険度（レベル1～5）の見直し	●	―	・秋田県水防協議会で了承（H20.5）。
	④避難活動	①自治体との避難判断水位共有（ホットライン）	―	●	・既存ホットラインの活用。
○平常時の危機管理	①市民への連絡と周知徹底	①浸水想定区域図・ハザードマップの周知	●	―	・H20は米代川（指定区間）、小坂川、阿仁川、藤琴川について浸水想定区域図を作成・完了。
		②水害を風化させないための広報	●	●	・現場見学会（ﾏｽｺﾐ:9月、一般:11月）、ﾊﾟﾈﾙ展（県:8月と9月、国:11月と12月）実施。
		③洪水調節施設等の役割、運用方法等の広報	●	●	・森吉山ダムでは、出前講座で対応済み。
	②訓練	①地域防災計画による訓練	●	●	・地域防災計画により、引き続き実施。
		②流域内危機管理演習	H21	●	・H20は、12/1に能代市と国で実施。H21は4市、県、国での合同実施を予定。
	③教育	①水防災講習会の実施	●	●	・北秋田振興局、能代河川国道事務所で出前講座を実施。
		②地域主導による水害教訓等の後世への継承・啓発	●	●	・北秋田振興局、能代河川国道事務所で出前講座を実施。

※「●」は、実施済み（対応済み）を表す。

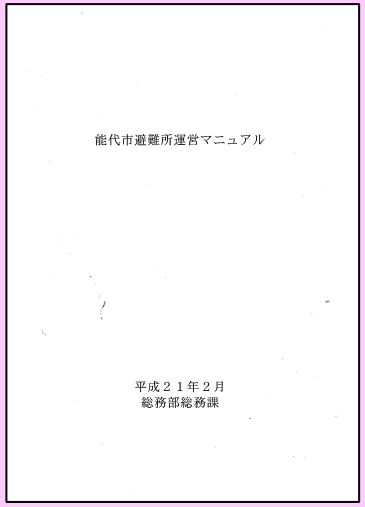
【 ソフト対策 】　～ 平成20年度の取り組み ～

【ﾎﾟｲﾝﾄ】防災マニュアルの作成と情報共有体制の整備。

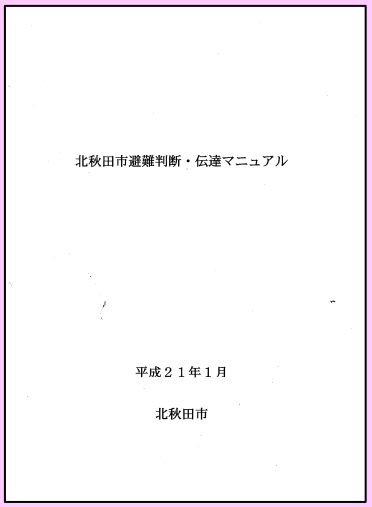
- ○各市が避難マニュアルや防災マップ等を作成したほか、3市で地域防災計画の見直しを完了。
- ○各種防災マップによる避難所・避難場所、避難経路等の広報を実施。
- ○洪水時の各機関相互の情報共有項目及び方法を確認。
- ○能代市と能代河川国道事務所は、合同で洪水対応演習を実施。
- ○巡回パネル展、治水見学会による水害を風化させない広報を実施
- ○県はホームページでダム情報を提供。
- ○北秋田市阿仁前田地区では住民主導の避難訓練を実施。

○地域防災計画の見直し、災害対応マニュアルの策定

	能代市				北秋田市				大館市				鹿角市			
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
地域防災計画		○ 1月作成済			○ 3月策定済				○ 3月公表済						○ H21改定予定	
洪水ハザードマップ			○ H21策定予定				○ H21策定予定			○ 5月公表済	※ H21 範囲拡大版策定予定				○ H21策定予定	
災害対応マニュアル		○ 2月作成済 災害時職員動員マニュアル			○ 8月策定済 北秋田市職員初動マニュアル					○ 9月改定済 緊急対応マニュアル（発生から24時間以内）				○ 9月改定済 災害時職員初動体制マニュアル		
まるごとまちごとﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟ				○ H22以降				○ H22以降				○ H22以降				○ H22以降
避難マニュアル		○ 2月作成済 避難指示・勧告マニュアル				○ 1月作成済み 避難判断・伝達マニュアル				○ 9月公表済 防災マップ				○ 7月策定済 避難所マップ		
その他		○ 2月作成済 避難所運営マニュアル								○ 9月公表済 大館市危機管理指針				○ 9月作成 避難所開設運営マニュアル		


能代市避難所運営マニュアル

平成２１年２月
総務部総務課


北秋田市避難判断・伝達マニュアル

平成２１年１月

北秋田市

○避難所・避難場所、避難経路等の広報

【ポイント】 第1避難所と第2避難所を明示

【 ソフト対策 】　～ 平成20年度の取り組み ～

○各機関相互の情報共有項目及び方法

試行　情報共有シート

平成　年　月　日（　）　時　分

米代川の総合的な治水対策　情報共有 【FAX様式】

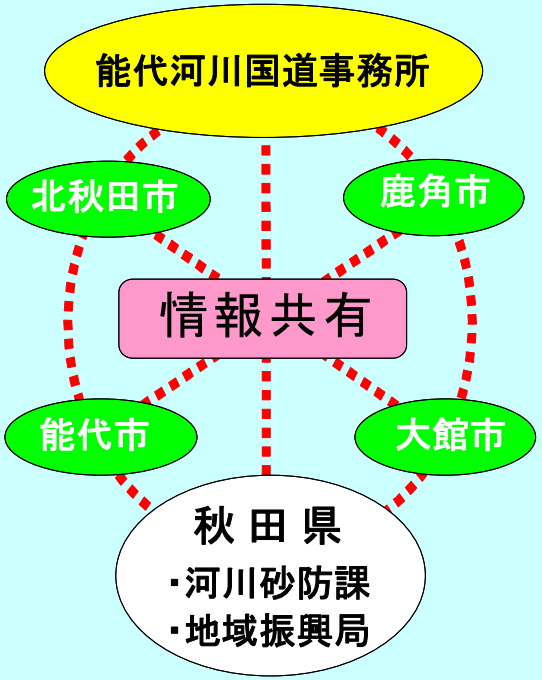
総合的な治水対策　関係機関　所属

担当　TEL　－　－

※【情報の種類】：該当する情報 項目に○をつけて下さい 。場所や 戸数等はわかる範囲で 記載して下さい。

避難勧告発令状況	土砂災害状況	洪水被害状況	水防団活動状況	避難所の状況
（調査中）	（調査中）	（調査中）	（調査中）	（調査中）
[未発令]	[土砂流出]（地区名 ）	[堤防被害]（地区名 ） 決壊・漏水・越水・その他	[出動（地区名）] 外　警戒	[設置済み（箇所数）]
[発令済み]（箇所数 ） （地区名 ）	[家屋被害]（地区名 ） 全　壊：　戸 半　壊：　戸	[家屋被害]（地区名 ） 床上浸水：　戸 床下浸水：　戸 全　壊：　戸 半　壊：　戸	[活動内容] 漏水・越水 その他（調査中 ）	[不足物品等]（物品名 ）
[その他]	[道路情報]（地区名 ） 市道・県道・国道・その他	[道路被害]（地区名） 陥没・損傷・その他	[避難] [解除]	[避難済み人数]（約　人） [その他]（避難所内の状況　等）
	[人的被害] ・地区名 ・有り　人 ・なし ・調査中	[橋梁被害（橋梁名）] 市道・県道・国道 [人的被害] ・地区名 ・有り　人 ・なし ・調査中	[その他]	

【その他】：上記に該当する事項がない場合や詳細に伝えたい事項などがあれば記載して下さい 。



○重要水防箇所の点検・見直し

【ポイント】
水防団、市、県、河川管理者が危険箇所の情報共有を図る

【能代地区（6月3日）】

【北秋田地区（6月6日）】

【大館地区（6月5日）】

○合同洪水対応演習

能代市長

合同で実施

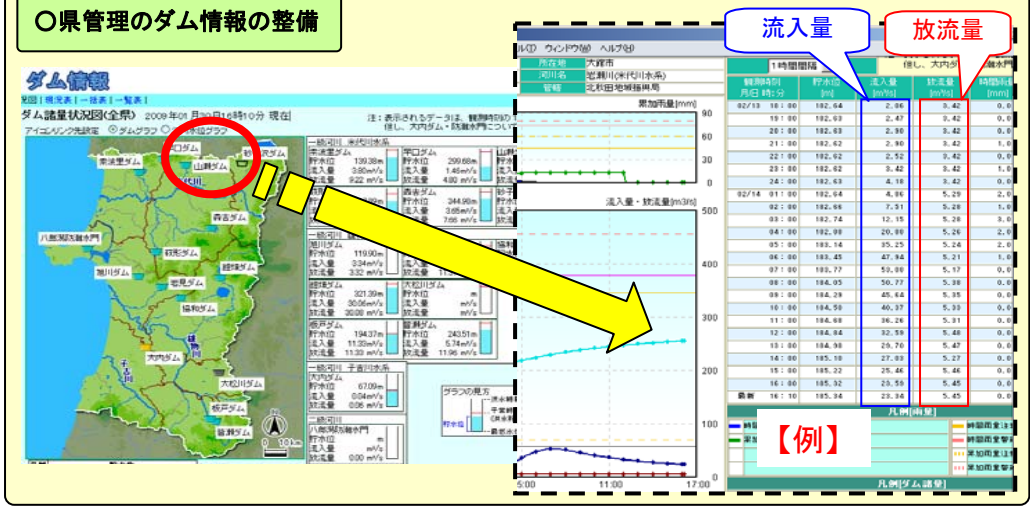
能代河川国道事務所長

○水害を風化させないための広報

○巡回パネル展（鹿角市役所談話室）
【主催】米代川の総合的な治水対策協議会

○治水見学会（森吉山ダム工事現場）
【主催】米代川治水期成同盟会
森吉山ダム建設促進期成同盟会

○県管理のダム情報の整備



○高輝度避難所案内看板の設置

高輝度避難所案内看板
※平成21年度は更に増設予定

○地域主導による水害教訓等の後世への継承・啓発

【住民主導の訓練　（H20.9.17、北秋田市）】

※避難所へ向かう住民。
北秋田市は、防災無線による情報提供を実施し、訓練に協力。